

11月4日・5日・6日 八重山は祭り一色！

今年の竹富島の種取り祭が11月4日(金)、5日(土)を中心に執り行われます。

竹富島の種取り祭は、約600年の伝統があると言われ、1977年(昭和52年)に国の「重要無形民俗文化財」の指定を受けています。

「竹富島の種子取祭(タナドゥイ)」は、東京や沖縄本島、石垣の各郷友会も加わり、島人総出で五穀豊穡と子孫繁栄を祈る、島最大の行事です。

今年の種子取祭は、11月4日と5日の2日間を中心に、世持御獄(ユームチオン)で70余りの伝統芸能が神々に奉納されます。

竹富島には、玻座間村と仲筋村の2つの村があり、種子取祭の芸能は玻座間村と仲筋村で競演するという性格をもっているそうです。

11月4日(金)の奉納芸能は玻座間村が、11月5日(土)は仲筋村が演ずることになっています。

奉納芸能は、庭の芸能と特設舞台の上での芸能とに分けられます。また芸能は踊り(ブドゥイ)と狂言(キョングン)に分かれています。舞踊は女性の担当で、狂言は男性の担当となっているようです。

10時頃、竹富島に渡り、午後には石垣島に帰るという日程を立てることもいいのでは…。

参考までに…。

種子取祭の見学は無料です。

休憩無しの高時間ぶっ通しの上演となりますが、ステージ前の観客席では飲んだり食ったりすることは自由にできます。

また近くにトイレも整備されています。

石垣島より種子取祭を見学に出掛けられる場合は、船会社から販売される「往復乗船券+港⇄祭り会場間の送迎車付セット券」を利用されるのが安価で便利です。

祭り当日は、レンタサイクル店は休業するため、シャトルバス以外の移動手段は徒歩のみとなります。水牛車やバス観光等も基本的にはお休みとなります。

昼、夜ともいくつかのお店は営業していますので、全く食事ができないということはありません。（但し、相当待たされることもあります。） 祭り会場前で多少の食べ物や飲み物の販売をしていますが、すぐに完売となるため、できれば石垣島で飲物や食べ物を買って行かれた方がよいかと思います。

日程に都合がつく方は、この機会に竹富島の種取り祭を楽しんではいかがでしょうか。

井上康夫氏の種子取祭寸描（ユーチューブ）を紹介させていただきます。

<https://www.youtube.com/watch?v=q33ssUpbZCA>

をクリックして下さい。